

令和8年度

試験研究業務計画

2026 年8月

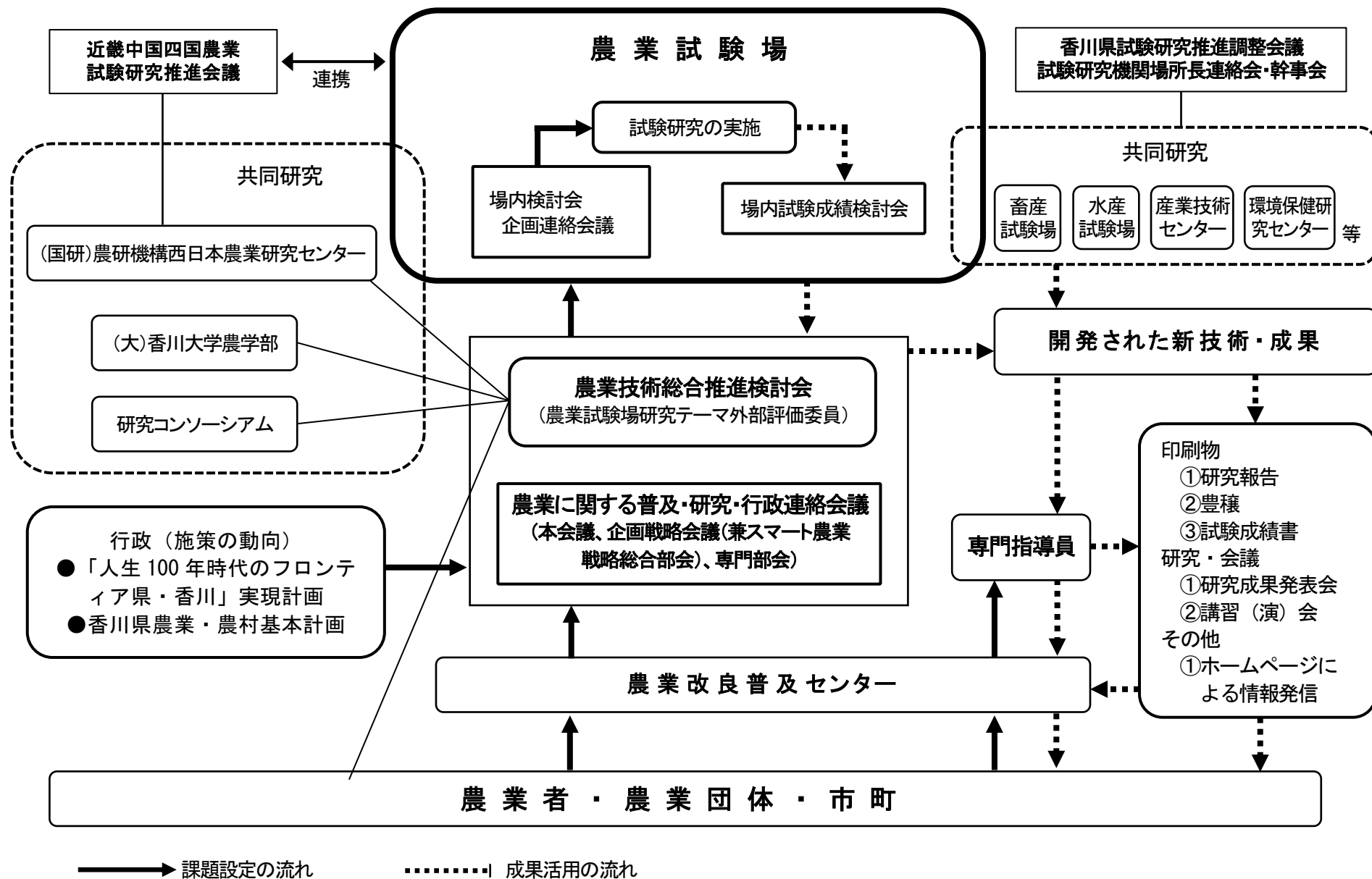
香川県農業試験場

[香農試印刷物第1651(26-03)号]

目 次

1.	試験研究課題の設定と成果の活用体制	1
2.	試験研究推進組織	2
3.	令和8年度当初予算（農業試験場費）内訳	3
4.	試験研究課題とその概要	4
1)	新農業技術開発事業	4
2)	公設試研究機関共同研究	4
3)	場内共同研究	5
4)	競争的資金等	5
5)	受託事業等（民間）	6
6)	受託事業等（国、国立研究開発法人等）	7
7)	新技術シーズ開発事業	7
8)	所課別試験研究課題	8
(1)	企画・営農研究課	8
(2)	病虫・環境研究課	9
(3)	作物・特作研究課	12
(4)	野菜・花き研究課	13
(5)	府中果樹研究所	15
(6)	小豆オリーブ研究所	17
(7)	園芸総合センター	18
(8)	病虫害防除所	19
5.	令和8年度主要行事等予定	21
6.	場内各種委員会の構成	21
7.	本場配置図	22

1. 試験研究課題の設定と成果の活用体制



2. 試験研究推進組織

1) 組織と業務内容

令和8年4月

総括	研究所等	部門・課	業務内容
場 長 副場長	本場	(総務課)	庶務、人事、財産、経理
		(企画・営農研究課)	試験研究の企画調整及び産学官連携 農業機械の開発及び作業体系の改善 情報管理及び農業経営改善
		(病虫・環境研究課)	土壌管理、施肥及び栄養診断技術 病害虫の防除技術及び農薬残留等調査 組織培養・遺伝子診断技術の開発
		(作物・特作研究課)	水稻・麦等の品種育成及び栽培技術 水稻・麦等の原種育成及び増殖
		(野菜・花き研究課)	野菜、花きの栽培技術及び品種育成
		(満濃試験地)	野菜等の栽培研究
	府中果樹研究所	総務	庶務・経理・庁舎管理
		(果樹研究課) 品種開発	果樹の品種選定・育成
		栽培技術	果樹の栽培技術
		土壌・病害虫	果樹の土壌管理、施肥及び病害虫防除技術
	小豆オリーブ研究所	栽培	オリーブの品種選定・育成及び栽培技術
		環境	オリーブの土壌管理、施肥及び病害虫防除技術
		品質評価	オリーブオイルの品質評価及び高品質化
		総務・情報発信	オリーブに関する情報発信・庶務・経理
	園芸総合センター	総務	庶務・経理
		原種生産	茎頂培養等による原々種養成及び原種増殖
		技術研修	研修・指導及び実証展示
	病害虫防除所	発生予察	病害虫の発生予察
		防除指導 農薬取締	防除指導及び農薬の取締、鳥獣害対策

2) 職員数

(令和8年6月1日現在)

研 究 職	行 政 職	再任用 育休代替	会計年度 任用職員	合 計
52	7	13	67	139

3. 令和8年度当初予算(農業試験場費)内訳

(単位:千円)

区 分		当初予算額	備 考(課、研究所等)
試 験 研 究 費	新農業技術開発事業		
	①地球温暖化に対応した新品種開発事業	2,272	野菜・花き研究課、作物・特作研究課、府中果樹研究所
	②次世代の香川型施設園芸プラットフォーム開発事業	5,766	野菜・花き研究課、病虫・環境研究課、府中果樹研究所、企画・営農研究課
	③DNA マーカーを用いたオリジナル品種開発加速化事業(第2期)	4,364	野菜・花き研究課、病虫・環境研究課、作物・特作研究課、府中果樹研究所、小豆オリーブ研究所
	④気候変動と脱炭素に対応した新品種・新技術の開発事業	5,914	野菜・花き研究課、病虫・環境研究課、作物・特作研究課、企画・営農研究課
	⑤県オリジナルキウイフルーツの栽培適地拡大技術の開発事業	1,940	府中果樹研究所
	⑥資源循環型農業による環境負荷低減技術開発事業(政策)	6,224	野菜・花き研究課、病虫・環境研究課、作物・特作研究課、
	小 計	26,480	
	県試験研究		
	①シーズ育成型試験研究	7,056	企画・営農研究課、作物・特作研究課、野菜・花き研究課、病虫・環境研究課、府中果樹研究所、小豆オリーブ研究所
	②研究職員大学院博士後期課程研修補助金	268	作物・特作研究課
	小 計	7,324	
	受託事業		
	イノベーション創出強化研究推進事業等	13,800	野菜・花き研究課、病虫・環境研究課、作物・特作研究課、府中果樹研究所
	新除草剤の効果検定試験	952	作物・特作研究課、府中果樹研究所
	殺虫・殺菌剤の効果検定試験	8,450	病虫・環境研究課、府中果樹研究所、病害虫防除所
	新肥料の肥効試験	660	作物・特作研究課
	野田農業研究開発支援助成事業	1,500	病虫・環境研究課、府中果樹研究所
	農地土壌温室効果ガス排出量算定基礎調査事業	1,400	病虫・環境研究課
	農業環境負荷解析調査	4,500	病虫・環境研究課
	小 計	31,262	
	合 計	65,066	
整備費	農業試験場施設整備費	9,692	運搬車、オートクレープほか
運 営 等 管 理 費	本場運営等管理費	49,238	
	園芸総合センター運営等管理費	12,333	
	府中果樹研究所運営等管理費	8,244	
	小豆オリーブ研究所運営費	6,843	
	満濃試験地運営等管理費	2,749	
	小 計	79,407	
その他	園芸総合センター整備事業費	101,817	
事業費合計		255,982	
給与費		635,216	職員給与 56 名、会計年度任用職員 66 名
総 計		891,198	

4. 試験研究課題とその概要

1) 新農業技術開発事業

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	所・課 等	摘 要
1. 地球温暖化に対応した新品種開発事業	1. DNAマーカー育種による有用遺伝子の導入 2. 超促成栽培が可能な高品質多収イチゴ品種の開発 3. 地球温暖化に対応した新たな高付加価値果実の開発	R4～	作物・特作研究課 野菜・花き研究課 病虫・環境研究課 府中果樹研究所 (果樹研究課)	県 単
2. DNAマーカーを用いたオリジナル品種開発加速化事業(第2期)	1. 次世代「さぬきの夢」の早期選抜技術の開発 2. 種なしカンキツの育種を加速化できる技術の開発 3. 茎枯病抵抗性アスパラガスの育種を加速化できる技術の開発 4. 強みのある次期オリーブ品種の開発に向けた選抜技術の確立	R5～9	病虫・環境研究課 作物・特作研究課 府中果樹研究所 (果樹研究課) 野菜・花き研究課 小豆オリーブ研究所	県 単
3. 次世代の香川型施設園芸プラットフォーム開発事業	1. 「レイズドベッド」による栽培方式の規格化と高収益生産体系の開発 2. 「NNハウス」の特性を活かした栽培体系の開発 3. 減農薬・減化学肥料の生産体系の開発	R5～9	野菜・花き研究課 病虫・環境研究課 府中果樹研究所 (果樹研究課) 企画・営農研究課	県 単
4. 気候変動と脱炭素に対応した新品種・新技術開発事業	1. ニンニクの安定生産技術と有望系統の検討 2. アスパラガスの露地栽培技術と有望系統の検討 3. タマネギの極早生系統と作型の検討 4. ラナンキュラスの低コスト栽培	R6～10	野菜・花き研究課 病虫・環境研究課	県 単
5. 県オリジナルキウイフルーツの栽培適地拡大技術の開発事業	1. 新しい台木の適応性検証特性調査と栽培適性の解明 2. 新台木を用いた平坦地での栽培性の検討 3. 新台木の増殖技術の検討 4. 自力施工可能な低コスト耐候性果樹棚の開発	R6～10	府中果樹研究所 (果樹研究課)	県 単
6. 資源循環型農業による環境負荷軽減技術の開発	1. 堆肥ペレット肥料等の肥効調査試験・実証 2. 堆肥ペレット肥料等の施用による土壌環境の経年調査 3. 土づくりに精通した研究・指導員の養成	R7～9	病虫・環境研究課 野菜・花き研究課 作物・特作研究課 企画・営農研究課	新しい地方経済・生活環境 創生交付金

注：所・課等欄の下線は総括担当を示す。

2) 公設試験研究機関共同研究

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	所・課 等	摘 要
7. 試験研究機関共同研究	1. さぬきの新規後発酵茶の開発	R6～8	小豆オリーブ研究所 <u>産業技術センター</u>	県 単

注：所・課等欄の下線は総括担当を示す。

3) 場内共同研究

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	所・課 等	摘 要
8. 病害虫発生予察事業	1. 指定、指定外病害虫発生予察 2. 重要病害虫等の侵入調査事業	S25～	病害虫防除所 病虫・環境研究課 府中果樹研究所 (果樹研究課) 小豆オリーブ研究所	令 達 [農業経営課]
9. 特殊病害虫緊急防除対策事業	1. キウイフルーツオリジナル品種病害対策 (うどんこ病様症状) 2. 農薬登録促進 (パセリのアブラムシ類) 3. 農薬登録促進 (マーガレットのヨトウムシ類) 4. 農薬登録促進 (ラナンキュラス株枯病)	R 8～ R 6～ R 7～ R 4～	病害虫防除所 病虫・環境研究課 府中果樹研究所 (果樹研究課)	令 達 [農業経営課]
10. 環境にやさしい農業推進事業	1. イチゴ炭疽病の薬剤防除体系の検討 2. カンキツのアザミウマ類の防除対策	R 8～	病害虫防除所 病虫・環境研究課 府中果樹研究所 (果樹研究課)	令 達 [農業経営課]
11. 水稻増収に向けた革新的栽培体系の開発	1. 「再生二期作」の栽培体系の確立 2. 効果的省力施肥技術の開発 3. 害虫の発生活長調査	R 8～	作物・特作研究課 病虫・環境研究課	令 達 (農業生産流通課)

注：所・課等欄の下線は総括担当を示す。

4) 競争的資金等

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	所・課 等	摘 要
12. アスパラガス茎枯病抵抗性スーパー品種で創る新たな持続的生産体系	1. 環境負荷低減栽培技術の開発 2. 育成品種の普及に向けた需要創出 3. 流出リスクを考慮した種苗安定供給技術の開発	R5～R9	野菜・花き研究課 病虫・環境研究課 企画・営農研究課	オープンイノベーション 05017c3 コンソーシアム (代表機関: 国研 農研機構九州沖縄農業研究センター)
13. 気候変動による低温被害と高温果皮障害を軽減できる多収性ビワ新品種の開発	1. 新品種候補の地域適応性の解明と多収性新品種の選抜	R7～9	府中果樹研究所 (果樹研究課)	気候変動対応ビワ新品種開発コンソーシアム (代表機関: 長崎県農林技術開発センター)
14. 傾斜地果樹園における葉裏等への精密な農薬散布ロボットの研究開発	1. 傾斜地カンキツ園における性能試験に関する研究 ○ロボットの性能試験 (主にカンキツ)	R8～10	府中果樹研究所 (果樹研究課)	傾斜地果樹園向け精密農薬散布ロボットの研究開発コンソーシアム (代表機関: 香川大学(創造工学部))

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	所・課 等	摘 要
15. スマート生産方式 SOP 作成研究事業	イチゴにおける自動選別パック詰めロボットの導入による出荷調整作業の効率向上 1. 自動選別パック詰めロボットの導入効果を発揮させる安定出荷栽培体系の検証 1) 収穫量安定化につながる定植前の最適な花芽分化誘導処理方法の確立 2) 果実データとハウス内環境モニタリングを活用した栽培管理改善システムの開発 2. 自動選別パック詰めロボット等の運用手法の検証、最適化、装置の改良 1) 「女峰」生産者における自動選別パック詰めロボット導入効果の検証 3 自動選別パック詰めロボット導入・運用 SOP の作成	R7～9	野菜・花き研究課 企画・営農研究課	イチゴ自動選別パック詰めロボット導入・運用技術研究コンソーシアム
16. 耐病性に優れた府県向け高品質小麦系統の開発と実用化	1. コムギ萎縮ウイルス (SBWMV) によるコムギ萎縮病の罹病・抵抗性検定方法の開発	R7～11	作物・特作研究課 病虫・環境研究課	国内産麦の研究開発支援事業(一般社団法人全国米麦改良協会公募事業) (代表機関: (国研) 農研機構九州沖縄農業研究センター)
17. ラナンキュラスの高温障害の回避・軽減に資する技術の検討	1. NN ハウスと枠板式高畝栽培のラナンキュラス生産への適用	R8	野菜・花き研究課	ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業(国補) (花き全国技術実証 2026 協議会)

注：所・課等欄の下線は総括担当を示す。

5) 受託事業等（民間）

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	所・課 等	摘 要
18. 新植物調節剤実用化試験	1. 新除草剤等の効果検定試験	S39～	作物・特作研究課 野菜・花き研究課 府中果樹研究所 (果樹研究課)	(公財) 日本植物調節剤研究協会
19. 農薬委託試験	1. 殺菌剤・殺虫剤の効果検定試験	S45～	病虫・環境研究課 作物・特作研究課 府中果樹研究所 (果樹研究課) 小豆オリーブ研究所 病害虫防除所	香川県植物防疫協会 (一社) 日本植物防疫協会
20. 肥料委託試験	1. 新肥料の肥効試験	S62～	作物・特作研究課	香川県施肥合理化協会

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	所・課 等	摘 要
21. 野田農業研究開発助成事業	1. ドローン散布によるブロッコリーの病害虫防除技術の確立	R6～8	病虫・環境研究課	(一財)野田共済会
	2. 常温煙霧散布による施設イチゴの病害虫防除技術の確立	R7～9	病虫・環境研究課	
	3. ウンシュウミカン「石地」の半樹別交互結実技術の確立	R7～9	府中果樹研究所 (果樹研究課)	
	4. 遮光資材の展張によるブドウの高温対策技術の確立	R8～10	企画・営農研究課	
	5. 小規模傾斜地ミカン園における収穫作業の省力化技術の開発	R8		

注：所・課等欄の下線は総括担当を示す。

6) 受託事業等（国、国立研究開発法人等）

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	所・課 等	摘 要
22. 温室効果ガス抑制土壌調査事業	1. 全国農地土壌炭素調査 1) 定点調査 2) 基準点調査	R5～8	病虫・環境研究課	農林水産省
23. 農薬環境負荷解析調査	1. 河川中農薬モニタリング調査	H16～	病虫・環境研究課	(株)エスコ (環境省)

7) 新技術シーズ開発事業（シーズ育成型試験研究の一部）

計 7 課題実施

(1) 企画・営農研究課

8

(2) 病虫・環境研究課

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
新農業技術開発事業 No. 1	地球温暖化に対応した新品種開発事業 1. DNAマーカー育種による有用遺伝子の導入 ○いもち病抵抗性「おいでまい」の育成 2. 超促成栽培が可能な高品質多収イチゴ品種の開発 ○種子繁殖型F ₁ 品種のうどんこ病耐病性評価	R 4～	村上(恭) 吉 田 片 山	県 単
新農業技術開発事業 No. 2	DNAマーカーを用いたオリジナル品種開発加速化事業(第2期) 1. 次世代「さぬきの夢」の早期選抜技術の開発 2. 種なしカンキツの育種を加速化できる技術の開発 3. 茎枯病抵抗性アスパラガスの育種を加速化できる技術の開発 4. 強みのある次期オリーブ品種の開発に向けた選抜技術の確立	R 5～9	武 田 村上(恭)	県 単
新農業技術開発事業 No. 3	次世代の香川型施設園芸プラットフォーム開発事業 1. 「レイズドベッド」による栽培方式の規格化と高収益生産体系の開発 ○ロボット防除機でのアスパラガス防除の効果確認 3. 減農薬・減化学肥料の生産体系の開発 ○低濃度エタノールを用いた土壌還元消毒効果の検討 ○化学肥料低減に向けた低コスト施肥体系の確立	R 5～9	香 西 植 田 松本(匠) 吉 田 片 山 菰 淵	県 単
新農業技術開発事業 No. 4	気候変動と脱炭素に対応した新品種・新技術開発事業 1. ニンニクの安定生産技術と有望系統の検討 ○減化学合成農薬栽培技術の検討(対象:白絹病、春腐病) ○種球のウイルス感染実態の把握 2. アスパラガスの露地栽培技術と有望系統の検討 ○有機栽培を含む栽培体系の検討・確立 3. ラナンキュラスの育種資源の拡充と育種 ○ラナンキュラスマイルドモザイクウイルスに対し耐病性を示す品種・系統の選抜 4. タマネギの超極早生系統、超極早生系統採種用母球およびセット栽培における防除体系の確立	R6～10	植 田 松本(匠) 武 田 吉 田 片 山	県 単
新農業技術開発事業 No. 6	資源循環型農業による環境負荷軽減技術の開発 1. 堆肥ペレット肥料等の肥効調査試験・実証 ○水稻、小麦、ブロッコリー等における土壌環境調査 2. 堆肥ペレット肥料等の施用による土壌環境の経年調査 3. 土づくりに精通した研究・指導員の養成	R7～9	村上(恭) 平 木	新しい地方経済・ 生活環境創生交 付金

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
場内共同研究 No. 8	病虫害発生予察事業 1. 普通作物 ○イネ、ムギの病虫害発生状況の調査 ○発生予察技術確立のための調査研究 ○情報提供協力 3. 野菜・花き ○主要野菜等の病虫害発生状況調査 ○発生予察技術確立のための調査研究 ○フェロモントラップおよび黄色水盤による害虫の発生状況調査 ○情報提供協力	S17～ S43～	松本(匠) 植 田 吉 田 片 山	令 達 [農業経営課]
場内共同研究 No. 9	特殊病虫害緊急防除対策事業 2. 農薬登録促進（パセリのアブラムシ類） 3. 農薬登録促進（マーガレットのヨトウムシ類） 4. 農薬登録促進（ラナンキュラス株枯病）	R 6～ R 7～ R 4～	香 西 菰 淵	令 達 [農業経営課]
オープンイノベーション研究・実用化推進事業 No. 12	アスパラガス茎枯病抵抗性スーパー品種で創る新たな持続的生産体系 1. 環境負荷低減（減化学農薬）栽培技術の開発 2. 茎枯病抵抗性品種の普及に向けた需要創出 3. 流出リスクを考慮した種苗安定供給技術の開発	R 5～9	武 田 植 田 吉 田 片 山	オープンイノベーション事業 05017c3 コンソーシアム (代表機関: (国研) 農研機構九州沖縄農業研究センター)
国内産麦の研究開発支援事業 No. 16	耐病性に優れた府県向け高品質小麦系統の開発と実用化 1. コムギ萎縮ウイルス (SBWMV) によるコムギ萎縮病の罹病・抵抗性検定方法の開発 ○エライザ検定による発病検定	R 7～11	吉 田 片 山	一般社団法人全国米麦改良協会公募事業 (代表機関: (国研) 農研機構九州沖縄農業研究センター)
受託事業等 (民間) No. 19	農薬委託試験 1. 殺菌剤・殺虫剤の効果検定試験 ○野菜・花き関係	S45～	植 田 松本(匠) 吉 田 片 山	香川県植物防疫協会 (一社) 日本植物防疫協会
受託事業等 (民間) No. 21	野田農業研究開発助成事業 1. ドローン散布によるブロッコリーの病虫害防除技術の確立	R6～8	松本(匠) 植 田 吉 田 香 西 菰 淵 片 山	(一財) 野田共済会
	野田農業研究開発助成事業 3. 常温煙霧散布による施設イチゴの病虫害防除技術の確立	R7～9	松本(匠) 植 田 香 西 菰 淵	(一財) 野田共済会

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
受託事業等(国、国立 研究開発法人等) No. 22	温室効果ガス抑制土壌調査事業 1. 全国農地土壌炭素調査 ○定点調査 ○基準点調査	R 5～8	平 木 松本(匠)	農林水産省
受託事業等(国、国立 研究開発法人等) No. 23	農薬環境負荷解析調査 1. 河川中農薬モニタリング調査	R 8	香 西 菰 淵	(株)エスコ (環境省)
25. シーズ育成型試 験研究	D. 生産環境安定対策技術の確立 1. 病害虫総合防除技術の確立 1) アザミウマ類の簡易感受性検定キットの 実用性検討 2. 低投入持続型肥培管理技術の確立 1) アスパラガスの収量が安定して得られる 根域管理法	R 3～	香 西 植 田 松本(匠) 菰 淵	県 単
	C. 野菜・花き生産省力安定化技術の確立 1. 主要花きの高品質化と安定生産技術の確立 ラナンキュラスの安定生産技術の確立のため の培養物維持・管理 2. 主要花きの品種育成と優良系統の選抜 ラナンキュラス新品種の育成のための培養物 維持・管理	R 3～8 R 7～11	吉田	県 単
26. 特殊病害虫防除 対策事業	総合防除のための個別管理技術の確立 夏秋どり施設イチゴにおけるアザミウマ類の防 除対策	R 4～	松本(匠) 植 田	令 達 [農業経営課]
27. 肥料検査業務	1. 肥料検査 1) 普通肥料 2) 特殊肥料	S 25～	平 木 松本(匠)	令 達 [農業経営課]
	2. 肥料登録・届出 1) 普通肥料登録申請・更新申請の窓口 2) 指定混合肥料生産届・変更届・廃止届の 受理 3) 特殊肥料生産届・変更届・廃止届の受理	S 25～		
	3. 肥料販売業者届 1) 販売開始届・変更届・廃止届の受理	S 25～		
	4. 報告 1) 肥料生産量 2) 肥料入荷量	S 25～		
28. ダム水質調査	県内 16 ダムの水質調査 〔 調査点数：16 ダム×各 4 地点×年 3 回 調査項目：pH、COD、全窒素等 8 項目 〕	S 51～	香 西 平 木 植 田 松本(匠) 菰 淵	令 達 [河川砂防課]
29. 環境と調和した 土づくりの推進	土壌機能モニタリング調査 (県下 19 定点の土壌調査)	R 5～8	平 木 松本(匠)	令 達 [農業経営課]
水稻生産性等向上対 策事業 No. 11	水稻増収に向けた革新的栽培体系の開発(水稻 再生二期作試験) 再生二期作目の主要な害虫の発生活長調査	R8～10	松本(匠) 植 田	令 達 [農業生産流通 課]

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
30. 気候変動対応技術 開発・実証事業	イチジク病害対策技術の検討	R8～10	吉田 片山	令 達 [農業生産流通 課]

(3) 作物・特作研究課

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
新農業技術開発事業 No. 1	地球温暖化に対応した新品種開発事業 1. DNAマーカー育種による有用遺伝子の導入 ○いもち病抵抗性「おいでまい」の育成	R 4～	相 澤 多田(祐)	県 単
新農業技術開発事業 No. 2	DNAマーカーを用いたオリジナル品種開発 加速化事業<第2期> 1. さぬきうどんに適した次世代「さぬきの夢」 の早期選抜技術の開発	R 5～9	多田(祐) 相 澤	県 単
新農業技術開発事業 No. 6	資源循環型農業による環境負荷軽減技術の開 発 1. 堆肥ペレット肥料等の肥効調査試験・実証	R7～9	玉井 甲把 三木	新しい地方経 済・生活環境創 生交付金
国内産麦の研究開発 支援事業 No. 16	耐病性に優れた府県向け高品質小麦系統の開 発と実用化 1. コムギ萎縮ウイルス (SBWMV) によるコムギ 萎縮病の罹病・抵抗性検定方法の開発	R7～11	多田(祐) 相 澤 三木	国内産麦の研 究開発支援事 業(一般社団法 人全国米麦改 良協会公募事 業) (代表機関:(国 研) 農研機構九州 沖縄農業研究 センター)
受託事業等 (民間) No. 18	新植物調節剤実用化試験 1. 新除草剤等の効果検定試験 ○普通作物関係	S 39～	甲把 玉井 三木	(公財)日本 植物調節剤 研究協会
受託事業等 (民間) No. 20	肥料委託試験 1. 新肥料の肥効試験 ○普通作物関係	S 62～	玉井 甲把 相 澤 多田(祐) 三木	香川県施肥 合理化協会
31. シーズ育成型試験 研究④	普通作物の生産安定化技術の確立 1. 主要農作物 (水稻、麦) 奨励品種決定調査 2. 普通作物の栽培試験 3. 現場ニーズに対応する技術情報の提供 1) 作況情報の提供 2) 麦類の作期移動試験	H26～	甲把 玉井 三木 相 澤 多田(祐) 香西	県 単

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
32. シーズ育成型試験 研究⑤	次世代さぬきうどん用小麦と温暖化対応型水 稲の開発 1. 次世代さぬきうどん用小麦の開発 1) グルテニンサブユニットを活用した新系 統の育成 2) 品質評価基準に沿った特性の系統への導 入と選抜技術 2. 温暖化対応型水稲の育成 2) 高温登熟性系統及び高温登熟検定による 育成系統の評価	H28～	相 澤 多田(祐)	県 単
33. シーズ育成型試験 研究⑥	1. 小麦「さぬきの夢 2023」 における RVI を 用いた生育診断技術の検討	R8	甲 把 多田(祐)	県 単
34. 主要農作物の原原 種、原種育成事業	1. 水稲・麦類・大豆奨励品種の系統管理によ る保存および原原種の生産 2. 採種計画に応じた原種の生産	S27～	香西 三木	県 単
水稲増収に向けた革 新的栽培体系の開発 No. 11	1. 「再生二期作」の栽培体系の確立 2. 効果的省力施肥技術の開発	R8～10	玉井 甲 把 三木	令 達 [農業生産流通課]
35. 香川型茶産地生産 振興事業	香川県における煎茶用品種の碾茶適正評価試 験 1. 他県において碾茶適性が高い「やぶきた」 「おくみどり」での本県における適正を評価	R8	玉井 甲 把 三木	令 達 [農業生産流通課]

(4) 野菜・花き研究課

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
新農業技術開発事業 No. 1	地球温暖化に対応した新品種開発事業 2. 超促成栽培が可能な高品質多収イチゴ品種 の開発 ○種子繁殖型F ₁ 品種の開発	R 4～	伊 藤 佐 野	県 単
新農業技術開発事業 No. 2	DNAマーカーを用いたオリジナル品種開発 加速化事業（第2期） 3. 茎枯病抵抗性アスパラガスの育種を加速化 できる技術の開発	R5～9	村上(裕)	県 単
新農業技術開発事業 No. 3	次世代の香川型施設園芸プラットフォーム開 発事業 1. 「レイズドベッド」による栽培方式の規格化 と高収益生産体系の開発 ○栽培ベッドの規格化（ミニトマト、イチ ゴ、ラナンキュラス） ○新品種への適応性確認（アスパラガス） 2. 「NNハウス」の特性を活かした栽培体系の 開発 ○各品目栽培時におけるハウス内環境の把握 （イチゴ、ラナンキュラス） ○換気性能を活かした夏秋作型の開発（ミニ トマト） ○保温力向上による省エネ生産体系の開発 （イチゴ、ラナンキュラス） ○強度と作業環境を両立させる内部構造の検 討	R 5～9	樋 林 佐 野 村上(裕) 藤 井 伊 藤 仲 本 小 松 中 井	県 単

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
新農業技術開発事業 No. 4	気候変動と脱炭素に対応した新品種・新技術開発事業 1. ニンニク ○種球の県内自給技術の開発 ○選抜系統における環境負荷を軽減した栽培法の確立 ○省力化・安定生産技術の検討 ○革新的な増殖法の開発 2. アスパラガス ○茎枯病抵抗性の付与、環境負荷を軽減した栽培体系の確立 3. タマネギ ○独自極早生系統の開発 ○年内・年明け取り作型の確立 4. ラナンキュラス ○系統作出に必要な育種資源の拡充と育種	R 6～10	村上(裕) 樋 林 藤 井 藤 村 中 井	県 単
新農業技術開発事業 No. 6	資源循環型農業による環境負荷低減技術開発事業 1. 混合堆肥複合肥料等の施用による収量・品質調査（ブロッコリー、ニンニク）	R 7～10	小 松 村上(裕)	新しい地方経済・生活環境創生交付金
36. 気候変動対応技術開発・実証事業	「NNハウス」＋「レイズドベッド」でのイチジクの高収益栽培体系の確立 1. 栽培体系の検討 2. 病害虫対策の検討 3. 機能性成分の解析	R8～10	小 松 大 矢 中 井	令 達 〔農業生産流通課〕
オープンイノベーション研究・実用化推進事業 No. 12	アスパラガス茎枯病抵抗性スーパー品種で創る新たな持続的生産体系 1. 環境負荷低減栽培技術の開発 ○瀬戸内地方での栽培技術の開発 3. 流出リスクを考慮した種苗安定供給技術の開発 ○雄株種子由来の超雄株利用による有望系統の作出	R 5～9	村上(裕) 藤 井 中 井	オープンイノベーション05017c3コンソーシアム (代表機関: 国研農研機構九州沖縄農業研究センター)
スマート生産方式SOP 作成研究事業 No. 15	イチゴにおける自動選別パック詰めロボットの導入による出荷調整作業の効率向上 1. 自動選別パック詰めロボットの導入効果を発揮させる安定出荷栽培体系の検証 1) 収穫量安定化につながる定植前の最適な花芽分化誘導処理方法の確立 2) 果実データとハウス内環境モニタリングを活用した栽培管理改善システムの開発 2. 自動選別パック詰めロボット等の運用手法の検証、最適化、装置の改良 1) 「女峰」生産者における自動選別パック詰めロボット導入効果の検証 3 自動選別パック詰めロボット導入・運用SOPの作成	R 7～9	佐 野 伊 藤	イチゴ自動選別パック詰めロボット導入・運用技術研究コンソーシアム
受託事業等(国、国立研究開発法人等) No. 17	ラナンキュラスの高温障害の回避・軽減に資する技術の検討 1. NNハウスと柵板式高畝栽培のラナンキュラス生産への適用	R 8	樋 林 藤 村	ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業(国補)(花き全国技術実証2026協議会)

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
37. シーズ育成型試験研究⑦	野菜・花き生産省力安定化技術の確立 (担い手育成のための野菜栽培技術の確立) 1. イチゴの安定生産と品種育成 1) 安定した生産法の開発 2) 品種育成 2. アスパラガスの安定生産と品種育成 1) 安定した生産法の開発 2) 品種育成 3. ニンニクの安定生産技術の開発 1) 種球の県内生産のための系統選抜 2) 輸入種球の生産性の検討 4. ショウガの安定生産技術の開発 1) ショウガの栽培適応性・生産性の検討	R 7～11 R 7～11 H27～R 8 R 7～8	大 矢 佐 野 藤 井 村上(裕) 伊 藤 仲 本 小 松	県 単
38. シーズ育成型試験研究⑧	野菜・花き生産省力安定化技術の確立 (花き類の高品質安定生産技術の確立) 1. 主要花きの高品質化と安定生産技術の確立 1) カーネーションの安定生産技術の確立 2) マーガレットの安定生産技術の確立 3) ラナンキュラスの安定生産技術の確立 4) ラナンキュラス促成栽培技術の確立 2. 主要花きの品種育成と優良系統の選抜 1) カーネーション新品種の育成 2) ラナンキュラス新品種の育成	R 3～8 R 7～11	藤 村 樫 林	県 単

(5) 府中果樹研究所 (果樹研究課)

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
試験研究開発推進事業 No. 1	地球温暖化に対応した新品種開発事業 3. 地球温暖化に対応した新たな高付加価値果 実の開発 ○温暖化の影響を受けにくく、優良な形質を持 つカンキツ新品種の育成	R 4～	秋 山 成 行 中 山 川 西	県 単
試験研究開発推進事業 No. 2	DNAマーカーを用いたオリジナル品種開発加 速化事業 (第2期) 2. 種なしカンキツの育種を加速化できる技術 の開発	R 5～9	成 行 中 山 秋 山 川 西	県 単
新農業技術開発事業 No. 3	次世代の香川型施設園芸プラットフォーム開発 事業 1. 「レイズドベッド」による栽培方式の規格化 と高収益生産体系の開発 ○栽培ベッドの規格化 (温州ミカン) 2. 「NNハウス」の特性を活かした栽培体系の 開発 ○各品目栽培時におけるハウス内環境の把握 (温州ミカン) 3. 減農薬・減化学肥料の生産体系の開発 ○化学肥料低減に向けた低コスト施肥体系の確 立 (温州ミカン)	R 5～9	秋 山 成 行 多田(寿) 川 西	県 単

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
新農業技術開発事業 No. 5	県オリジナルキウイフルーツ栽培適地拡大技術の開発 1. 新しい台木の適応性検証特性調査と栽培適性の解明 2. 新台木を用いた平坦地での栽培性の検討 3. 新台木の増殖技術の検討 4. 自力施工可能な低コスト耐候性果樹棚の開発	R 6～10	伊 賀 中 山 多田(寿) 福 田	県 単
場内共同研究 No. 8	病害虫発生予察事業 2. 果樹 ○果樹の病害虫発生状況の調査 ○発生予察技術確立のための調査研究 ○予察灯及びフェロモントラップによる害虫の発生状況調査 ○情報提供協力	S 35～	生 咲	令 達 [農業経営課]
場内共同研究 No. 9	特殊病害虫緊急防除対策事業 2. カンキツのアザミウマ類の防除対策 3. カンキツのカイガラムシ類防除対策の検討	R 8	生 咲	令 達 [農業経営課]
革新的新品種開発加速化緊急対策 No. 13	気候変動による低温被害と高温果皮障害を軽減できる多収性ビワ新品種の開発 1. 新品種候補の地域適応性の解明と多収性新品種の選抜 ○瀬戸内地方における地域適応性の解明と多収性新品種の選抜	R 7～9	成 行 秋 山 川 西	気候変動対応ビワ新品種開発コンソーシアム(代表機関:長崎県農林技術開発センター)
スマート農業技術の開発・供給に関する事業 No. 14	傾斜地果樹園における葉裏等への精密な農薬散布ロボットの研究開発 1. 傾斜地カンキツ園における性能試験に関する研究 1) ロボットの性能試験(主にカンキツ) 開発したロボットの散布試験、農薬残留分析等による薬液付着量調査や病害虫発生状況調査、防除効果の評価	R 8～10	生 咲 福 田 秋 山 成 行 川 西	傾斜地果樹園向け精密農薬散布ロボットの研究開発コンソーシアム(代表機関:香川大学(創造工学部))
受託事業等(民間) No. 18	新植物調節剤実用化試験 1. 新除草剤等の効果検定試験 ○果樹関係	S 39～	秋 山 中 山 伊 賀 福 田	(公財)日本植物調節剤研究協会
受託事業等(民間) No. 19	農薬委託試験 1. 殺菌剤・殺虫剤の効果検定試験 ○果樹関係	S 45～	生 咲 秋 山 伊 賀 中 山	香川県植物防疫協会 (一社)日本植物防疫協会
受託事業等(民間) No. 21	ウンシュウミカン「石地」の半樹別交互結実技術の確立 1. 半樹別交互結実技術の確立 2. 双幹系樹形の早期育成技術の開発	R 7～9	秋 山 多田(寿) 成 行 川 西	(一財)野田共済会
	遮光資材の展張によるブドウの高温対策技術の確立 1. 遮光処理が「ピオーネ」の樹体、果実品質、生理障害発生に及ぼす影響 2. 遮光処理が「シャインマスカット」の樹体、果実品質、生理障害発生に及ぼす影響	R 8～10	福 田 伊 賀 中 山	(一財)野田共済会

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
39. シーズ育成型試験研究⑨	果樹の品種開発とその普及定着に向けた安定生産技術の確立 1. 新商品開発に向けた新品種の育成 1) 新品種の育成 2) 系統適応性検定試験 3) 有望品種の選抜 2. 品種に対応した安定生産技術の確立 1) 常緑果樹の安定生産技術の確立 2) 落葉果樹の安定生産技術の確立 3) 土作り技術と根域管理技術の確立 4) 新しい病害虫管理技術の確立	H30～	福 田 伊 賀 中 山 秋 山 成 行 多田(寿) 生 咲 川 西	県 単
40. 「県産レモン」 産地倍増化事業	1. 適地マップの作製 2. 栽培マニュアルの作成	R 6～	秋 山 成 行 多田(寿) 生 咲 川 西	令 達 [農業生産流通課]
41. かがわ園芸産地 生産力強化対策事業	かがわ園芸産地生産力強化対策事業 1. 県オリジナル品種「小原紅早生」の生産拡大に向けた取り組み 2. シャインマスカット高品質早期成園化技術の検討	R 3～	福 田 伊 賀 秋 山	令 達 [農業生産流通課]
42. 「さぬき讃シリーズ」プロモーション事業	県オリジナルキウイフルーツの栄養機能性成分分析	R 4～	伊 賀	令 達 [農業生産流通課]

(6) 小豆オリーブ研究所

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
新農業技術開発事業 No. 2	DNAマーカーを用いたオリジナル品種開発加速化事業（第2期） 4. 強みのある次期オリーブ品種の開発に向けた選抜技術の開発	R 5～9	山 本 米 澤 川 原 中 西	県 単
試験研究機関共同研究 No. 7	さぬきの新規後発酵茶の開発 1. 堆肥施用量がオリーブ葉の生育及び品質に与える影響	R 6～8	川 原 山 本 中 西	県 単 主査場所: 産業技術セ ンター
場内共同研究 No. 8	病害虫発生予察事業 2. 果樹のうちオリーブ ○予察灯による害虫の発生状況調査 ○情報提供協力	H 5～	米 澤 川 原 山 本	令 達 [農業経営課]
場内共同研究 No. 9	特殊病害虫緊急防除対策事業 5. オリーブ病害虫の発生状況及び防除対策の検討 ○病害虫発生状況の調査 ○抵抗性害虫等調査	R 2～	米 澤 川 原 山 本	令 達 [農業経営課]

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
43. シーズ育成型試験研究⑩	オリーブ新品種の安定生産技術の開発 1. オリジナル品種の安定生産技術の開発 2. オリジナル品種の加工適性の解明 3. オリーブの連年安定生産技術の開発 4. オリーブオイル高品質化対策 5. 病虫害防除対策の検討 6. 品種に関する試験 7. 新シーズ開発に関する試験	R 4～ H27～ R 8～	川 原 米 澤 木 下 山 本 中 西	県 単
44. 情報発信業務	1. 展示室の活用 2. ホームページのアップデート 3. オリーブに関する情報発信	H29～	川 原 米 澤 木 下 山 本 中 西	県 単
45. オリーブオイル品質向上対策事業	1. オリーブオイル品質向上対策 官能評価員の研修、技能向上 2. I S O認定更新事業 業務管理運営委員会等の開催	H28～	木 下 川 原 山 本 米 澤 中 西	令 達 [農業生産流通課]
46. オリーブ新品種普及促進事業	1. 新品種の新たな課題解決や技術指導に向けた調査 2. 新品種の新漬け・オリーブオイルの加工に関する調査	R 4～	川 原 米 澤 木 下 山 本 中 西	令 達 [農業生産流通課]

(7) 園芸総合センター

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
47. 主要園芸作物の原種養成	1. 花き優良種苗の養成 カーネーション、マーガレット、 ラナンキュラス、キク 2. 野菜優良種苗の養成 カンショ、イチゴ 3. 果樹・オリーブ優良種苗用原母樹の養成 ブドウ、キウイフルーツ、オリーブ	S62～	村 口 大 原 藤 原	県 単
48. 園芸作物の栽培展示	1. 組織培養作業の紹介 2. 鉢花類の栽培技術と品種の展示 3. 切花類の栽培技術と品種の展示 4. 花木類の品種展示 5. 花壇展示	S62～	村 口 香 西 加 畑 松 本 古 市 大 西(洋) 谷 川	県 単
49. 研修指導	1. 花き等の情報収集および技術指導 2. 園芸相談の実施 3. 園芸作物等の展示状況に関する情報発信 4. 研修視察および一般開放	S62～	村 口 香 西 加 畑 松 本 古 市 谷 川 澁 江	県 単
50. 園芸総合センター整備事業	1. 本館改修、休憩所等の整備 2. 情報発信、各種イベントの実施	R 6～	香 西 加 畑 澁 江	県 単

(8) 病虫害防除所

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
51. 発生予察関係 (場内共同研究 No. 11 を含む)	1. 病虫害発生予察事業 1) 普通作物 2) 果樹 3) 野菜・花き 4) ハスモンヨトウ、シロイチモンジヨトウのフェロモントラップ調査 2. 病虫害の診断及び生態調査 1) 耐性菌等調査事業 2) 抵抗性害虫等調査事業 3) 保毒虫検定事業 3. 病虫害発生予察情報 1) 病虫害発生の現況報告 2) 発生予察情報の提供 3) 予察灯の調査及びウンカ類飛来状況報告 4) HPサービス 4. 病虫害防除員の設置・活動に関すること 1) 設置、調査報告、活動(研修会)、防除指導	S25～ S59～ S25～ S27～	森 充 長 尾 北 尾 佃 西 井 先 山 西 川	令 達 [農業経営課]
52. 防除指導関係 (場内共同研究 No. 12、13 を含む)	1. 病虫害防除方針策定に関すること 1) 病虫害・雑草防除指針に関すること 2) 主要農作物防除体系策定に関すること 3) 新農薬効果確認実証試験に関すること 4) 環境に配慮した農業に関すること 2. 特殊病虫害侵入防止対策に関すること 1) 重要病虫害等の侵入防止対策に関すること 2) キウイフルーツ苗木等検査	S57～ S59～	佃 西 井 先 山 西 川 森 充 長 尾 北 尾	令 達 [農業経営課]
	3. 特殊病虫害緊急防除対策事業 1) キウイフルーツオリジナル品種病虫害対策(うどんこ病様症状) 2) 農薬登録促進(パセリのアブラムシ類) 3) 農薬登録促進(マーガレットのヨトウムシ類) 4) 農薬登録促進(ラナンキュラス株枯病) 4. 環境にやさしい農業推進事業 1) イチゴ炭疽病の薬剤防除体系の検討 2) カンキツのアザミウマ類の防除対策 5. 輸出用マツ盆栽の病虫害対策 6. 鳥獣害防止対策事業 7. その他防除指導 1) マーガレットの病害防除対策 2) 斑点米カメムシ類の防除対策の検討 3) その他	H14～ R 8～		
受託事業等(民間) No. 19	農薬委託試験 1. 殺菌剤・殺虫剤の効果検定試験 ○殺虫剤 ○殺菌剤	S45～	佃 西 井 先 山 森 充 長 尾 北 尾 西 川	香川県植物 防疫協会 (一社)日本 植物防疫協会

課 題 名	試 験 内 容	試験期間	担 当	摘 要
53. 農薬指導取締関係	1. 農薬取締指導に関すること 1) 農薬販売届の受理と台帳整理 2) 立入検査 2. 農薬の安全使用に関すること 1) 農薬危害防止講習会 2) 農薬管理指導者養成研修	S57～ S57～	佃 西 川 西 井 先 山 森 充 長 尾 北 尾	令 達 [農業経営課]

5. 令和8年度主要行事等予定

- 1) 企画連絡会議（場内） 月1回
- 2) 農業試験場・研究テーマ外部評価委員会
第1回委員会（評価課題プレゼンテーション） 8月
第2回委員会（総合評価） 10月
- 3) 農業試験場研究成果発表会 12月（本場）
- 4) 近畿中国四国農業試験研究推進会議 3月
- 5) 中国四国地域研究・普及連絡会議 10月（中国四国農政局）
- 6) 主要刊行物
業務年報（年1回） 研究報告（年1回） 豊穰（年1回）
試験研究業務計画（年1回）
各種試験成績書（随時）

6. 場内各種委員会の構成

（令和8年4月）

委員会等 研究課・所	企画連絡会議	農業試験場 発明等審査 委員会	編集委員会	研究発表会 運営委員会
	議長： 北濱場長	委員長： 太田副場長	委員長： 太田副場長	委員長： 太田副場長
	西部副場長 太田副場長	西部副場長	副委員長： 中村(雅) 主席研究員	副委員長： 平木 主席研究員
総務課	畠副主幹	—	—	—
企画・営農研究課	中村(雅) 主席研究員 香川 主任研究員	中村(雅) 主席研究員 香川 主任研究員	中村(雅) 主席研究員	香川 主任研究員
病虫・環境研究課	村上課長	村上課長	村上課長	平木 主席研究員
作物・特作研究課	三木課長	三木課長	相澤 主席研究員	多田 主任研究員
野菜・花き研究課	中井課長	中井課長	中井課長	藤井 主任技師
府中果樹研究所	山田所長 川西課長	山田所長 川西課長	川西課長	中山技師
小豆オリーブ研究所	中西所長	中西所長	木下 主任研究員	川原 主席研究員
園芸総合センター	吉原所長	吉原所長	香西 主席研究員	加畑 主任研究員
病虫害防除所	森(芳) 所長	森(芳) 所長	森(充) 主席研究員	西井 主任研究員

7. 本場配置図



番号	主な施設名
1	正門
2	駐車場
3	管理棟
4	研究棟
5	東調整池
6	野菜・花き作業棟
7	生産環境・病虫害防除所作業棟
8	農業機械作業棟
9	農機格納庫

番号	主な施設名
10	ライスセンター
11	作物作業棟
12	有機物リサイクル棟
13	温室群
14	園芸ほ場
15	西調整池
16	水田ほ場